

石見の海 オレンジキャンペーン実施中

～命を守る海での自己救命策～

救命胴衣の着用と防水携帯電話は最後の命綱です。

あなたは、救命胴衣を着ずに何時間海の上に浮かんでいられますか？
あなたは、海の上で携帯電話もなく、どのように救助を求めますか？

平成28年3月に発生した小型漁船の乗揚げ転覆海難事故では、船長が携帯電話を常時携帯していなかったため救助要請ができず、付近航行船舶に発見されるまで9時間以上、危険な崖下の岩場で過ごすことになりました。
海で仕事をする人・釣り等のマリンレジャーを行う人の全ての海に関わる皆様は、海での事故発生後の生存率向上のため、次のことを行いましょう。

「自己救命策3つの基本」

- ・ 救命胴衣の常時着用
- ・ 防水携帯電話の常時携帯（連絡手段の確保）
- ・ 118番通報（緊急連絡先）

救命胴衣を着用していれば、防水携帯電話を携帯していれば、海中転落事故で助かっていたかもしれない、見つかったかもしれない事故が少なくありません。

事故に遭っても助かるために、生きて家族のもとに帰るために、「自己救命策3つの基本」を行いましょう。

GPS付の携帯電話で118番通報をしていただければ、正確な通報位置が分かりますので、検索時間が短縮され、迅速な救助につながり、助かる可能性が高まります。

漁業協同組合 JFしまね・島根県水難救済会

島根県港湾漁港建設協会・中国運輸局島根運輸支局

浜田海上保安部 協賛：島根県西部県民センター

「石見の海 オレンジキャンペーン」：オレンジ色は海上において視認性が高いことから救命胴衣や救命艇等に多く使用されている色です。

この「オレンジ色」をキャンペーンカラーとして、石見地方の海で仕事をする方、レジャーを楽しむ方の一人でも多くの方々が救命胴衣を着用することで、海難事故に遭っても生きて帰ってもらうための運動を海に関わる官民関係機関が共同で実施しています。